

令和6年度の渇水状況について

※「渇水」とは、河川の管理を行うに当たり、降雨が少ないこと等により河川の流量が減少し、河川からの取水を平常どおり継続するとダム貯水が枯渇すると想定される場合等に取水量を減ずる、いわゆる「取水制限」を行う等、利水者が平常時と同様の取水を行うことができない状態をいいます。

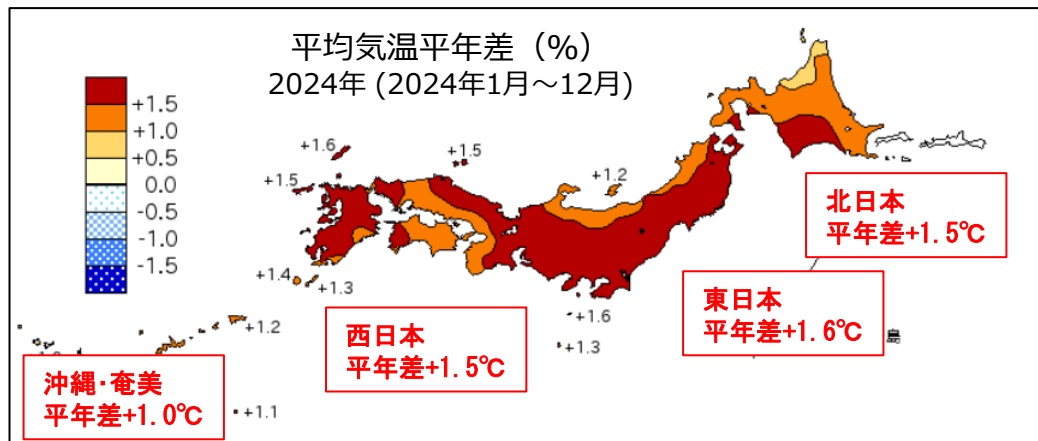
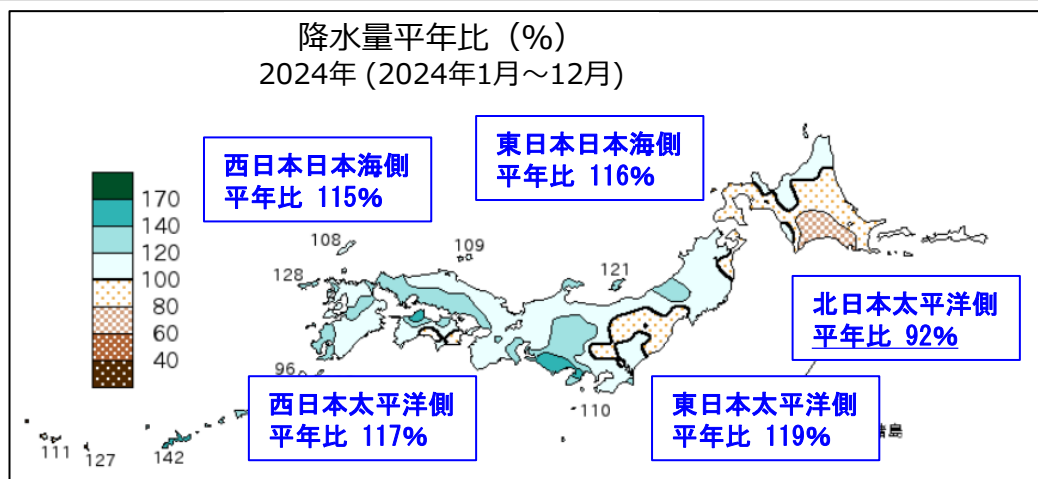
国土交通省水管理・国土保全局水資源部作成
令和7年3月末時点

令和6年度の渇水状況について 目次

- 令和6年の気象概要3
- 令和6年12月～令和7年2月の気象概要4
- 無降水日数の推移と気候変動の影響5
- 融雪量の変化傾向と気候変動の影響による積雪量の推移6
- 気候変動の影響による降雪量の変更7
- 近年の渇水状況8
- 令和6年度の渇水状況9
- トピックス① 東北地方整備局管内における渇水対応(1)10
- トピックス② 東北地方整備局管内における渇水対応(2)11
- 危機的な渇水への対応 ～「渇水対応タイムライン」の作成～12
- 渇水対応タイムラインの策定状況13
- 渇水の広報～渇水情報総合ポータル～14

令和6年の気象概要

- 年降水量は、東日本日本海側、東日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり多く、北・西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。静岡(静岡県)、松山(愛媛県)等の3地点で年降水量の多い方からの1位の値を更新した。一方、北日本太平洋側では少なかった。
- 年平均気温は、全国でかなり高かった。全国153地点の中で、盛岡(岩手県)、銚子(千葉県)、佐賀(佐賀県)等の99地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、東京(東京都)、那覇(沖縄県)等の12地点で1位と同じ値を記録した。

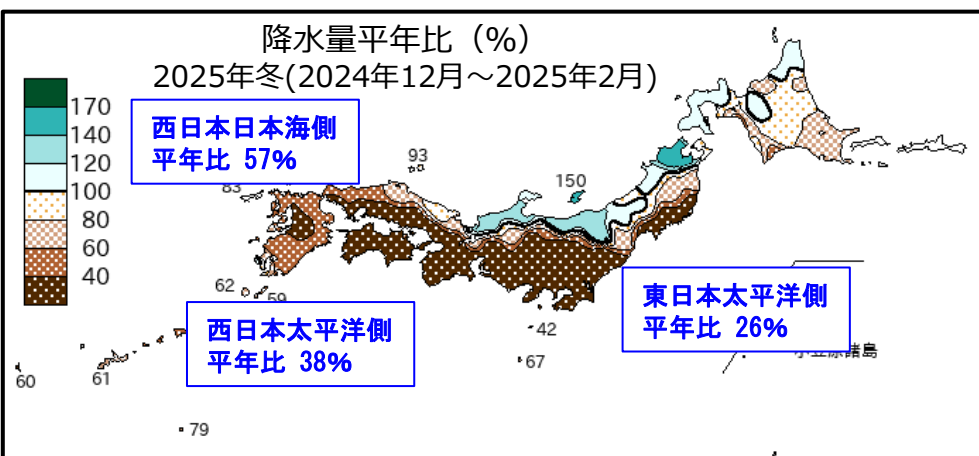


・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値である。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

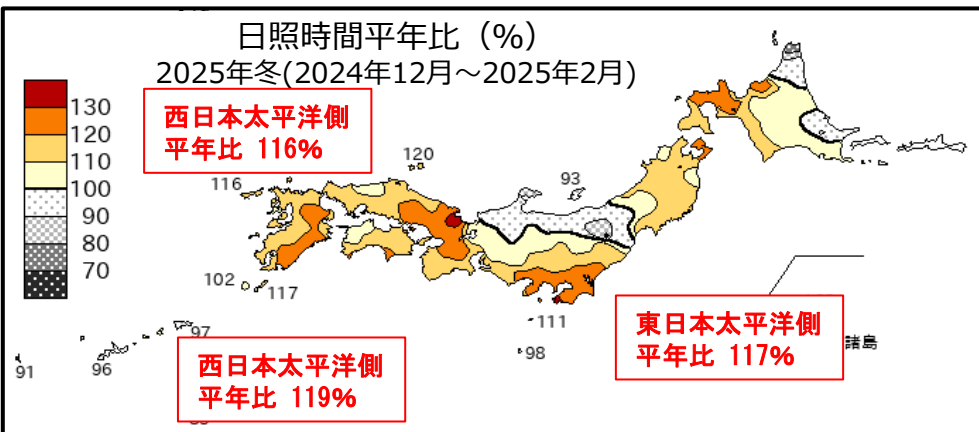
出典:気象庁

令和6年12月～令和7年2月の気象概要

- 冬の降水量は東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。冬型の気圧配置の影響や高気圧に覆われて晴れの日が多く、低気圧の影響を受けにくかった北・東・西日本太平洋側と西日本日本海側では、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多かった。
- 東・西日本太平洋側の冬の降水量は平年比がそれぞれ26%と38%で、1946/47年冬の統計開始以降で冬として1位、西日本日本海側では57%で冬として1位タイの少雨となった。
- 大船渡市では、2月26日に大規模な山林火災が発生した。



出典: 内閣官房内閣情報調査室



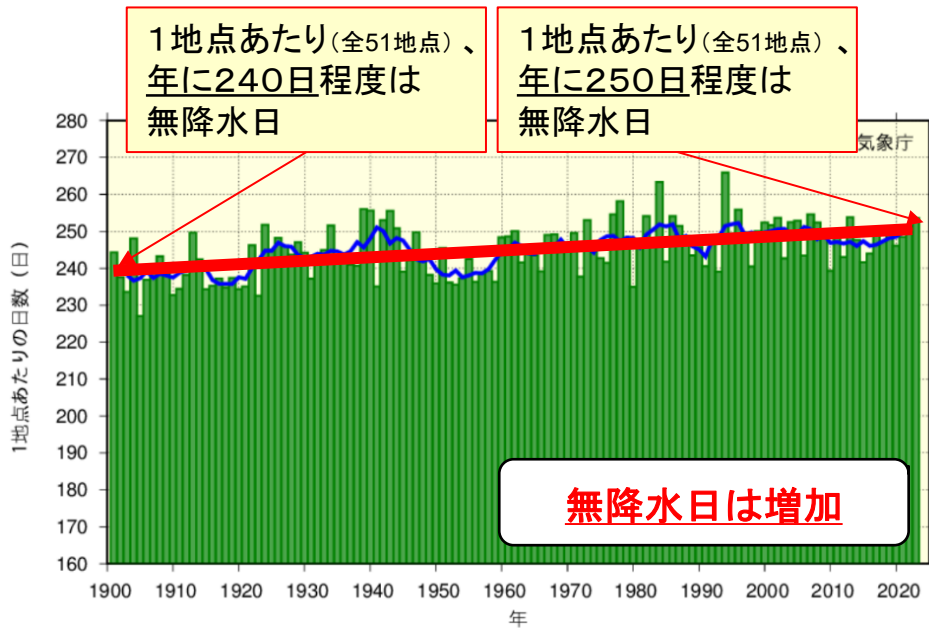
・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値である。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

出典: 気象庁

無降水日数の推移と気候変動の影響

- 気象庁の51観測地点において、**無降水日**（日降水量1.0mm未満で降水の見られない日）の**日数が増加傾向**。
- **気候変動の影響**により、年間の無降水日の日数が**増加すると予測**されている。
- 無降水日の増加等による**渇水の頻発化等に伴う、さらなる渇水被害の発生**が懸念される。

日降水量1.0mm未満の年間日数の経年変化(1901~2023年)



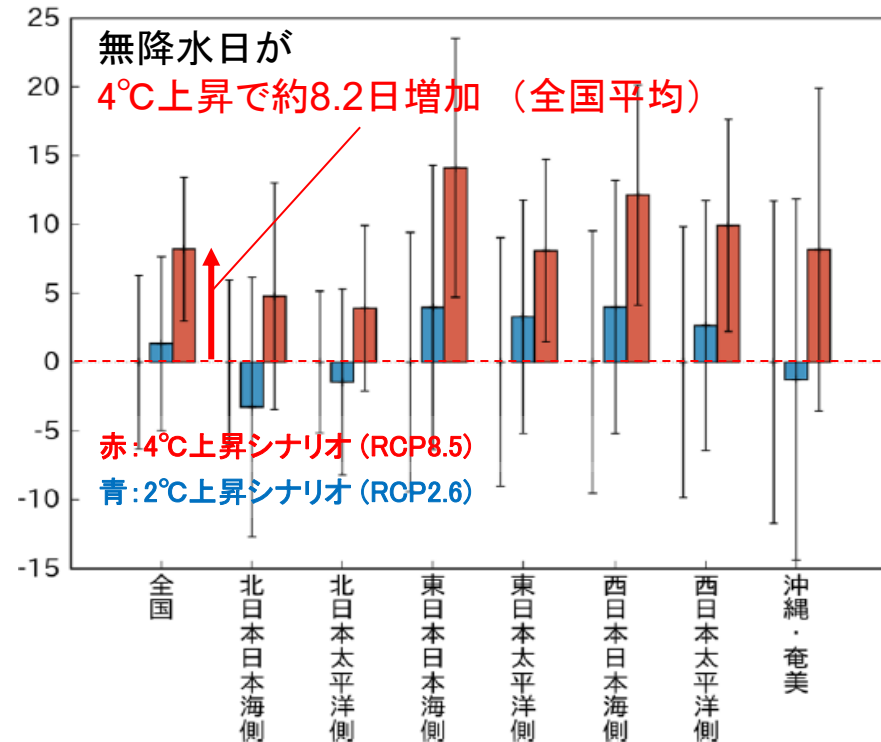
※棒グラフ(緑): 各年の年間日数の合計を有効地点数の合計で割った値(国の51地点における平均で1地点あたりの年間日数)

太線(青): 5年移動平均値

直線(赤): 長期変化傾向(この期間の平均的な変化傾向)

【出典】気象庁「気候変動監視レポート2023」

気候変動の影響による年無降水日の増加日数(日)



(注) 20世紀末(1980~1999年平均)を基準とした21世紀末(2076~2095年平均)における将来変化量(バイアス補正済)。

青: 2°C上昇シナリオ (RCP2.6)

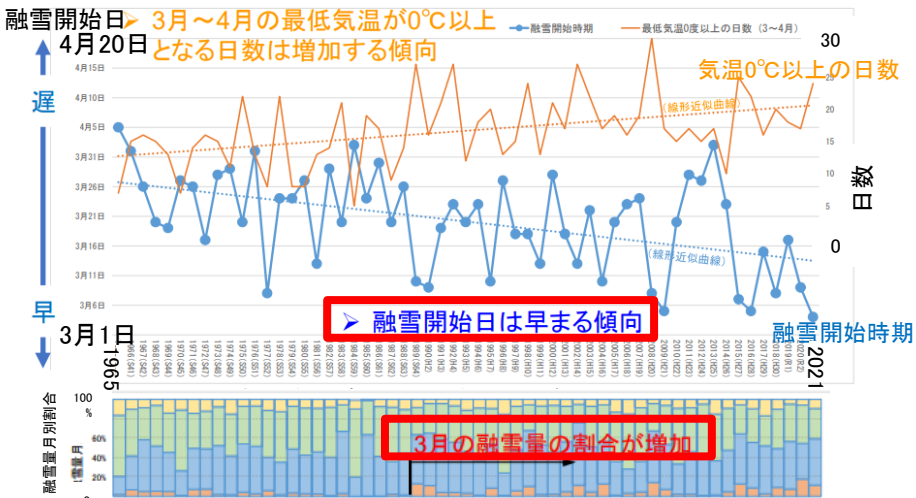
赤: 4°C上昇シナリオ (RCP8.5)

棒グラフ: 20世紀末の変動幅

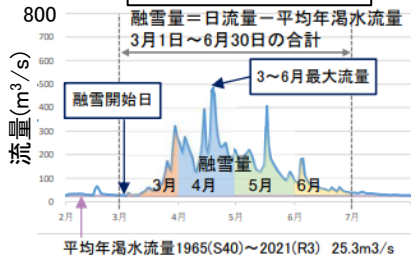
【出典】文部科学省 気象庁
「日本の気候変動2020」

- 北海道尻別川流域では、3、4月の気温が0°C以上となる日数が増加し、融雪開始日が早まる傾向が見られる。また、1990年頃以降では3月の融雪量の割合が増加しており、融雪時期の早期化により需要期に水を供給することができない可能性が懸念される。
- 気候変動の影響により、北海道の一部地域を除き、降雪・積雪は減少すると予測されている。

毎年の融雪開始日と3,4月の気温0°C以上となる日数 (倶知安地点)

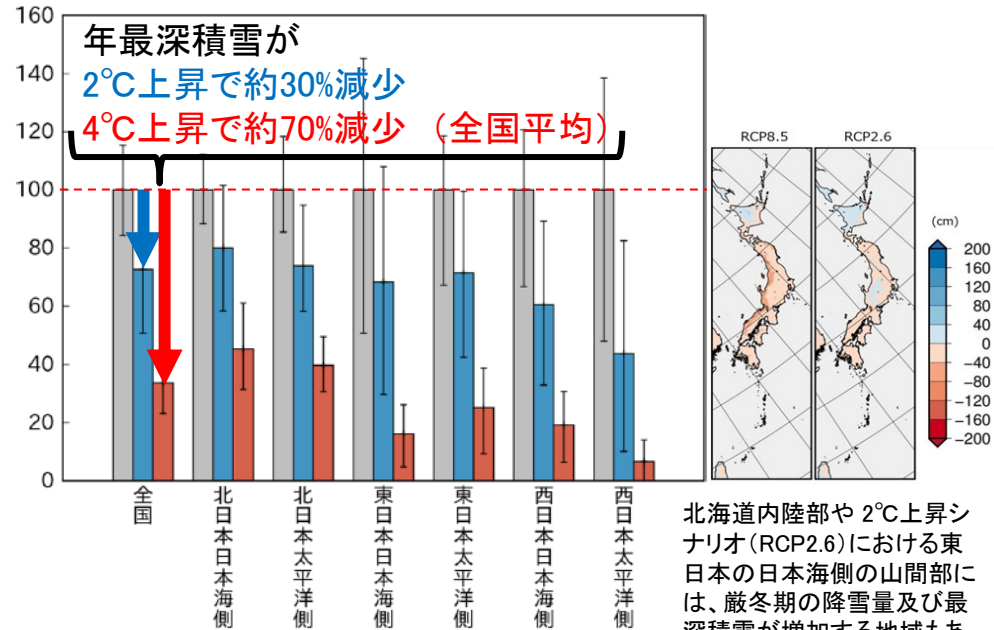


融雪量設定の考え方



【出典】北海道開発局小樽開発建設部HP

気候変動の影響による年最深積雪(%)



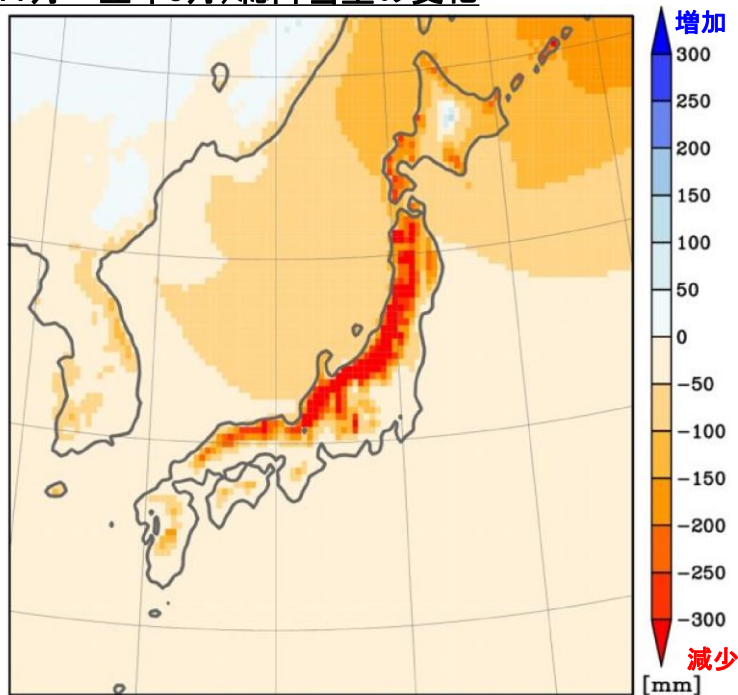
(注) 現在(灰色、1980~1999年平均)を100%としたときの、21世紀末(2076~2095年平均)における年最深積雪量。
青: 2°C上昇シナリオ(RCP2.6)
赤: 4°C上昇シナリオ(RCP8.5)

【出典】文部科学省 気象庁
「日本の気候変動2020」

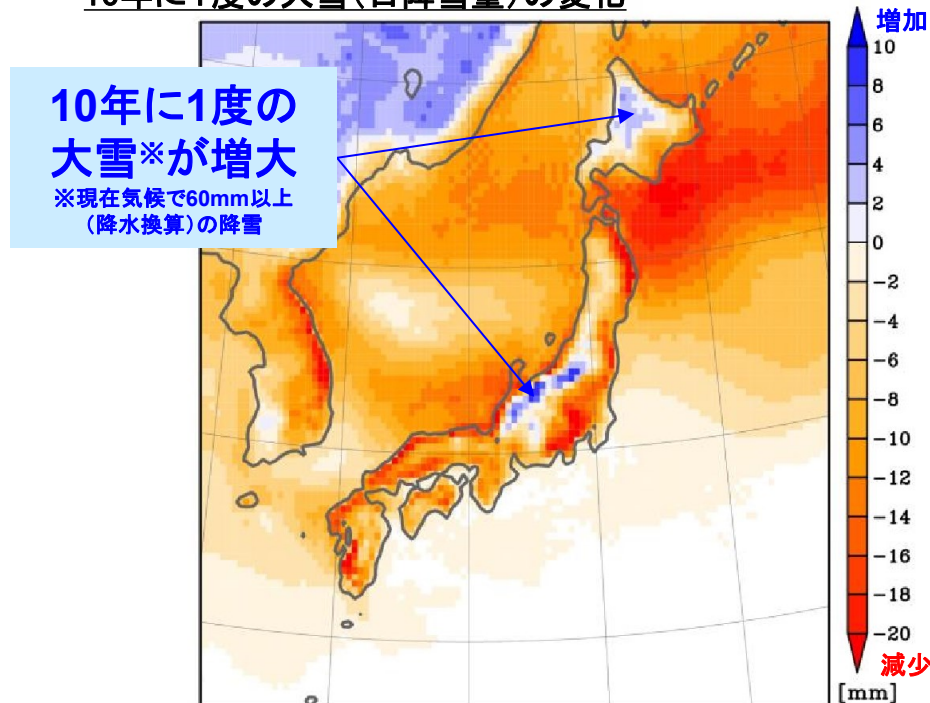
気候変動の影響による降雪量の変化

- 世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇した場合の日本の降雪量の変化の予測結果から、**冬季の総降雪量は北海道山岳部を除き減少するが、気温が0℃を超えない本州の山岳部や北海道の内陸部では、大気中の水蒸気の増加等により、10年に一度の大雪のような災害を起こしかねない極端な降雪が増大すると予測されている。**

冬季(11月～翌年3月)総降雪量の変化



10年に1度の大雪(日降雪量)の変化



※d4PDF に基づき世界平均気温が4℃上昇した場合の変化を予測した結果を示している。

<背景要因>

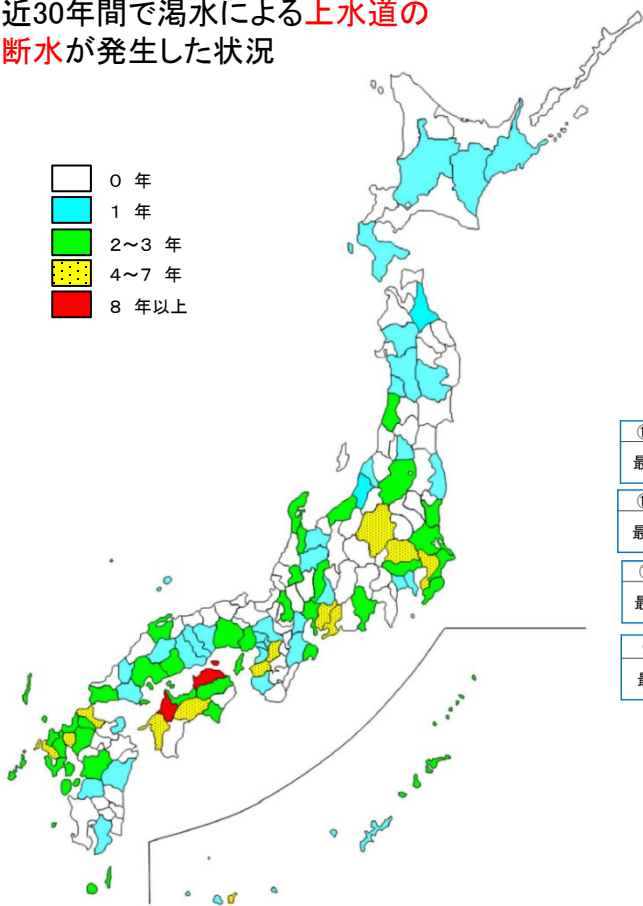
温暖化が進行した状況下では、より多量の水蒸気が日本海から大気へ供給されるとともに、大気もより多くの水蒸気を蓄えることができる。この時、沿岸域など気温が0℃を超えている地域では大雨が降るが、気温が低い内陸部や山地では大雪として降ることになる。

【出典】文部科学省 気象庁
「日本の気候変動2020」

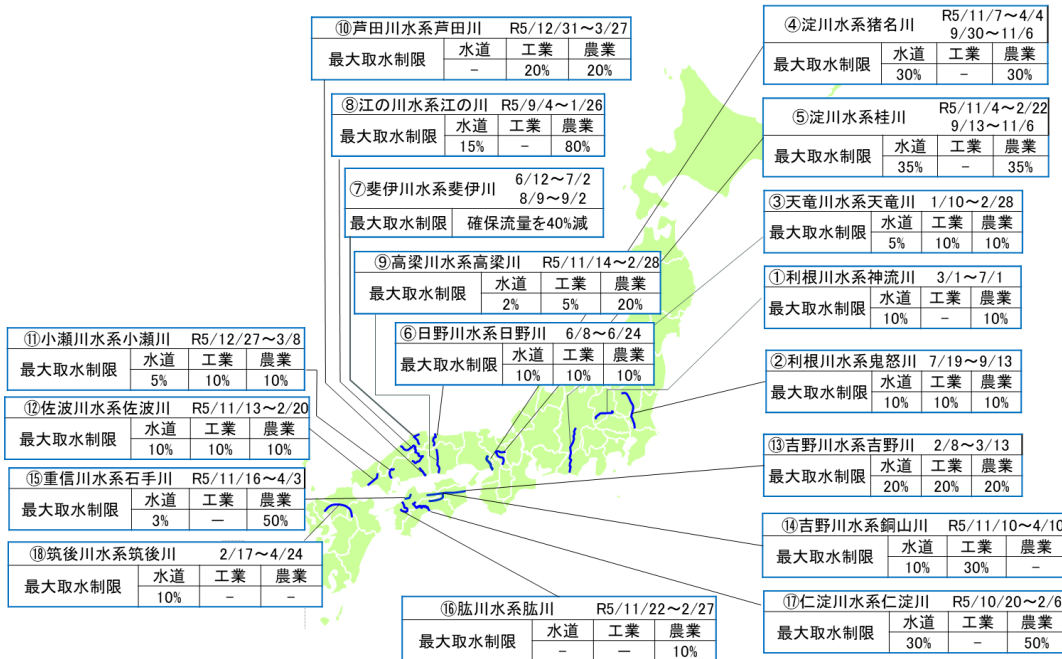
近年の渇水状況

- 近年も水道の減断水は全国的に発生、**四国の一部地域では30年間に8年以上発生した。**
- 令和6年は、**国管理河川15水系18河川において取水制限**を伴う渇水が発生した。

最近30年間で渇水による**上水道の減断水**が発生した状況



令和6年に国管理河川で取水制限※を実施した河川



※ここでいう取水制限とは河川管理者が渇水に関する体制を執っている河川のうち、下記いずれかを満たす河川を指すものである。

- ①取水施設からの取水量が制限されている河川
- ②水源施設からの補給が減量されている河川

(注) 1. 国土交通省水資源部調べ
2. 1992年から2021年の30年間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものである。

令和6年度の渇水状況

令和7年3月31日時点

○渇水対策会議等を開催し、河川管理者と利水者が情報交換を行うとともに、渇水業務を迅速かつ適確に実施するため、地方整備局に渇水対策本部を設置した。

(渇水対策本部の設置状況)

東北地方整備局※(令和6年3月14日～9月11日)、関東地方整備局(令和6年2月22日～7月1日、7月5日～9月13日)、近畿地方整備局(9月5日～11月6日)、四国地方整備局(8月16日～30日)、中国地方整備局(6月12日～24日)

※東北地方では、少雪傾向が続いたため、水利用や河川環境への影響を注視するために渇水対策本部を設置

近畿地方整備局管内

- 以下の河川で渇水対策会議等を開催し、取水制限等を実施。
 - 桂川[京都府]: 上水30%、農水30%(9/13～11/6)
 - 加古川[兵庫県]: 上水20%、農水20%(9/26～11/5、2/14～3/10)
 - 猪名川[兵庫県]: 上水20%、農水20%(9/30～11/6)

東北地方整備局管内

- 北上川、鳴瀬川、名取川、最上川、子吉川、岩木川水系で渇水対策会議等を開催(取水制限なし)

中国地方整備局管内

- 以下の河川で渇水対策会議等を開催し、取水制限等を実施。
 - 日野川[鳥取県]: 上水10%、農水10%、工水10%(6/8～6/24)
 - 斐伊川[鳥取県、島根県]: 上島地点流量40%減(6/12～7/2、8/9～9/2)

関東地方整備局管内

- 以下の河川で渇水対策会議等を開催し、取水制限等を実施。
 - 神流川[群馬県]: 上水10%、農水10%、工水-(3/1～7/1)
 - 鬼怒川[栃木県]: 上水10%、農水10%、工水10%(7/19～9/13)
 - 那珂川、久慈川水系: 渇水対策会議等開催(取水制限なし)

中部地方整備局管内

- 以下の河川で渇水対策会議等を開催し、取水制限等を実施。
 - 天竜川[長野県、静岡県]: 上水10%、農水20%、工水20%(1/21～)
 - 櫛田川水系: 渇水対策会議等開催(取水制限なし)

四国地方整備局管内

- 以下の河川で渇水対策会議等を開催し、取水制限等を実施。
 - 吉野川[徳島県、高知県]: 上水20%、農水20%、工水20%(8/16～8/30)
 - 仁淀川[高知県]: 上水30%、農水30%(8/15～8/19)
 - 銅山川[愛媛県]: 工水20%(2/19～)
 - 渡川、那賀川水系: 渇水対策会議等開催(取水制限なし)

九州地方整備局管内

- 山国川水系で渇水対策会議等を開催(取水制限なし)

※[]は河川の流域がまたがる主な都道府県名を記載
 ※取水制限率は、期間中の最大値を記載

- 令和6年は少雪・高温・少雨の影響により、春先の水利用や河川環境への影響が懸念されたことから、**渇水情報連絡会を前倒しで開催**。
- 渇水情報連絡会では、**関係機関との情報共有・緊密な連携、渇水時の監視体制強化**(毎日の取水報告、河川巡視の頻度増、水質調査の実施等)を共有。
- 直轄管理ダムでは、例年より少ない雪解け水を想定し、**冬期使用量の節約や雨水の貯め込みなどの『貯水位運用の工夫』**を実施。

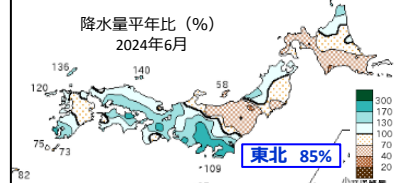
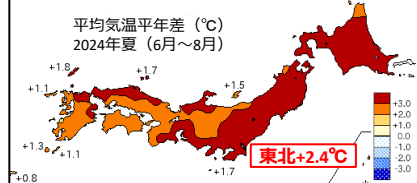
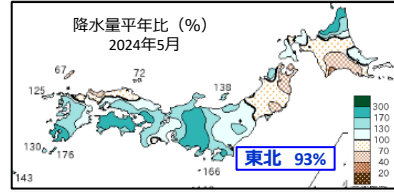
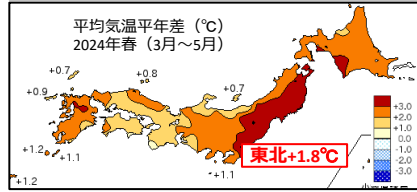
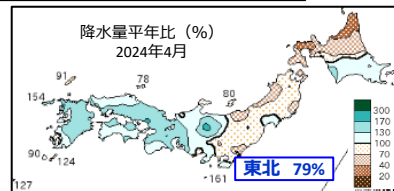
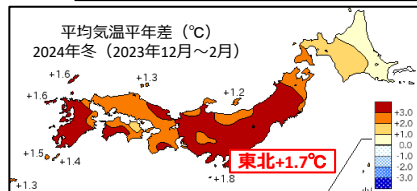
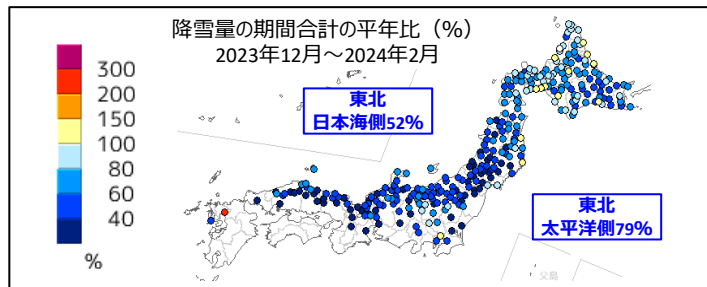
1. 東北地方の天候

降雪量: 平年比は67%、日本海側は52%、太平洋側は79% (R5.12~R6.2)

平均気温: 平年より1.7~2.4℃高かった (R5.12~R6.8)

降水量: 平年比は79%~93% (R6.4~R6.6)

(出典: 気象庁HP)



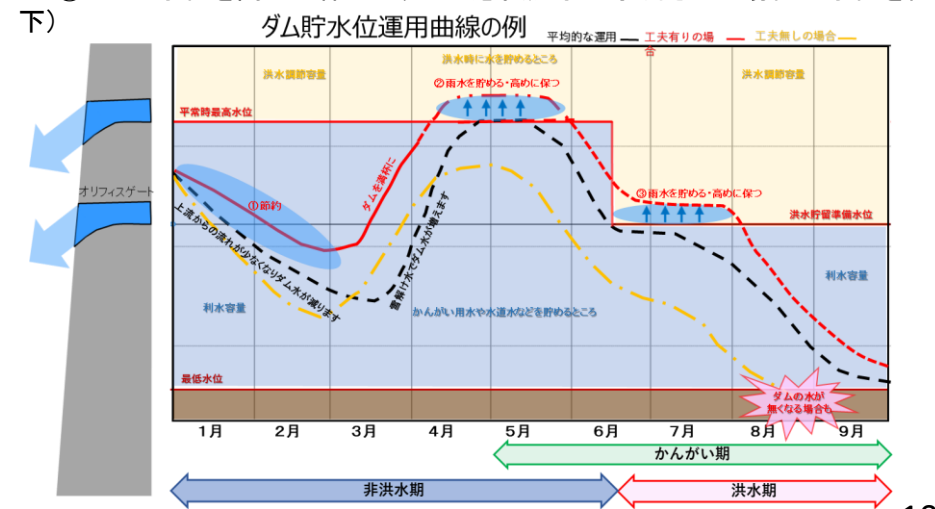
2. 渇水対策支部体制

渇水時における業務を迅速かつ的確に実施するため、**東北管内3水系2事務所1ダムで渇水対策支部(注意体制)を設置**



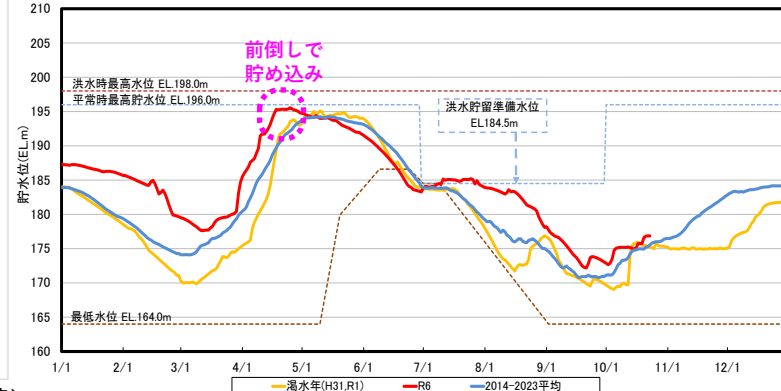
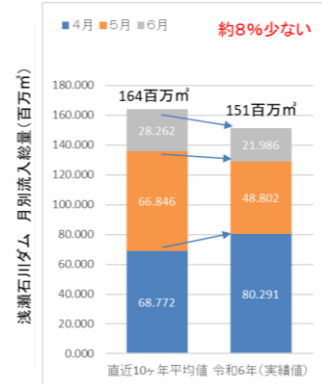
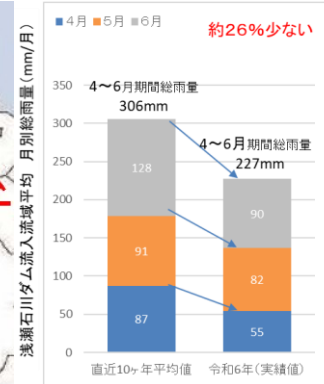
3. 直轄管理ダムの貯水位運用の工夫

- かんがい用水や上水道に安定供給を行うため、例年より少ない雪解け水を想定した工夫を実施。
 - ① 冬期の水の使用量を節約し、ダムを満杯にする。
 - ② ダムで貯め込んだ水が減らないよう、雨水もしっかり貯める。
 - ③ ダム水位を高め保つように配慮。(洪水が予測された場合は水位を低下)



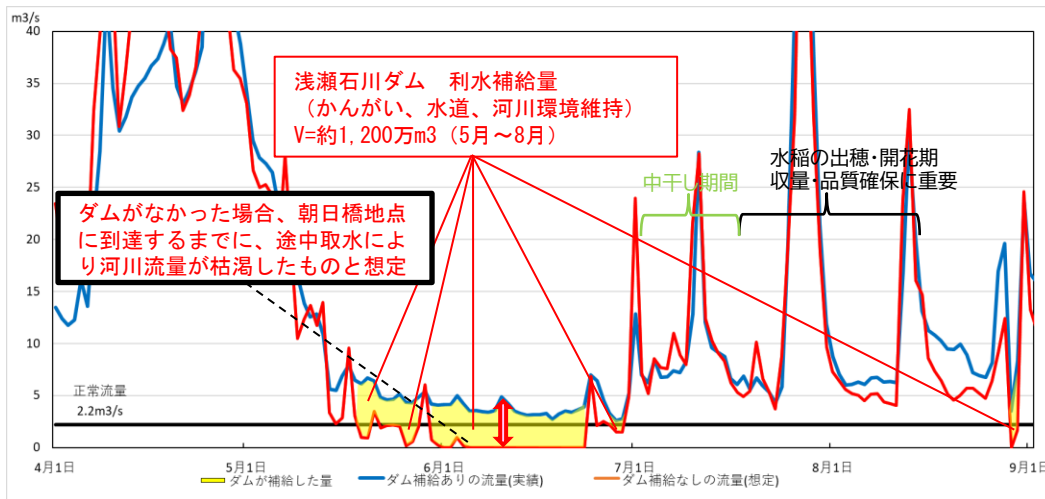
- 令和6年は少雪傾向で融雪も例年より早く、4月から6月の降水量も例年と比べて約26%少なく、ダムへの流入量は約8%少ない状況。
- ダム下流の朝日橋地点では河川流量が低下したため、かんがい、水道、河川環境維持のためにダムからの利水補給を実施。
⇒ 5月～8月で総量約1,200万m³を補給(東京ドーム約10杯分)
- 浅瀬石川沿川及び岩木川中流部右岸地区4市3町1村の農地約7,700haの水稻の健全な生育に寄与。
- 黒石市を含む5市3町1村の給水人口約429,000人の水道水の安定的な供給に寄与。

ダム位置図



月別の降水量(ダム流域平均) 浅瀬石川ダムの流入量(累積)

浅瀬石川ダム貯水位運用実績図(令和6年)



朝日橋地点の流量



浅瀬石川浅瀬石橋下流 (令和6年6月27日撮影)



浅瀬石川小国橋上流 (令和6年6月27日撮影)

【地域の声】

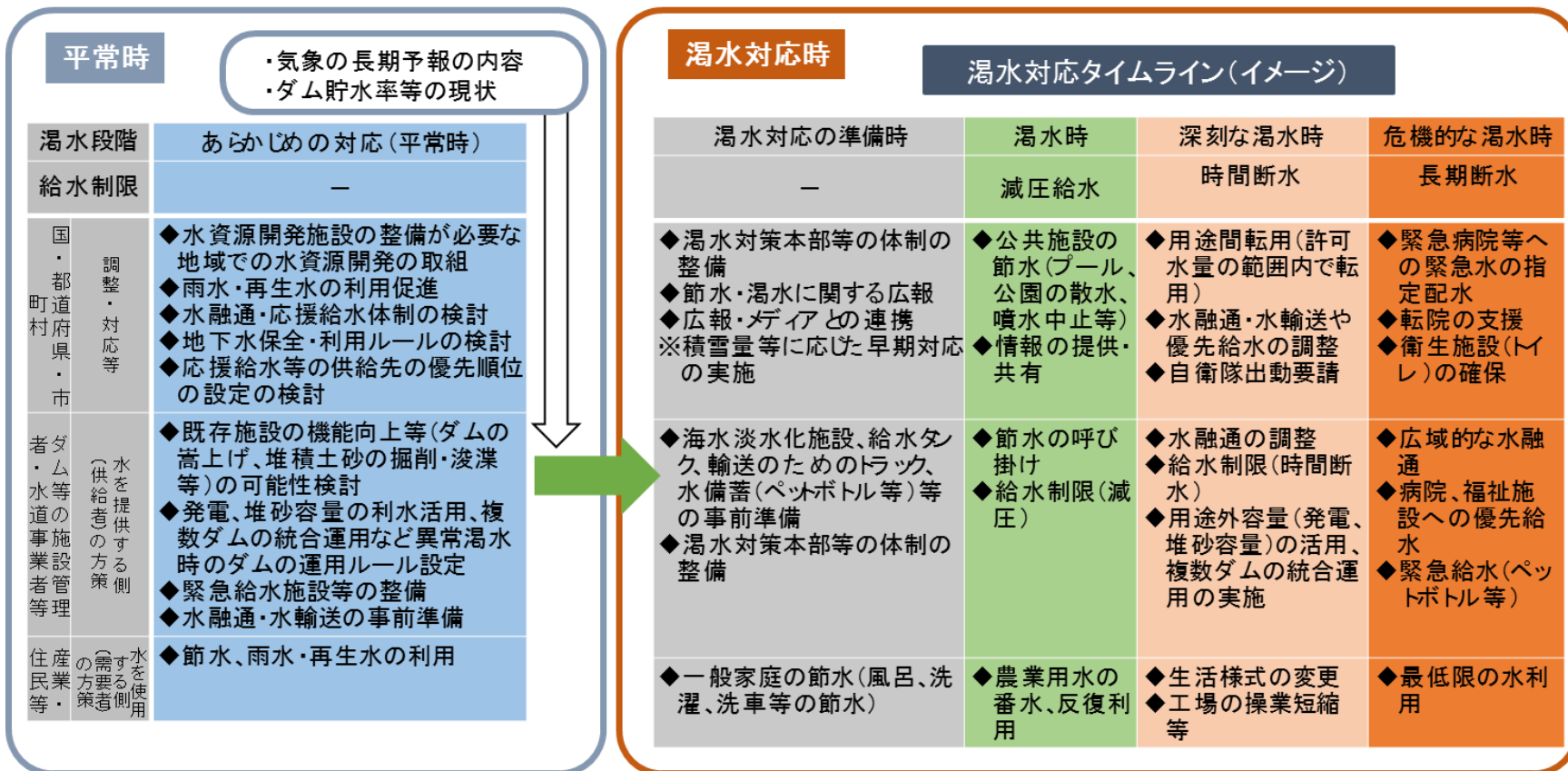
今年は雪解けも早く始まり、夏場の水不足が心配されたが、おかげさまで水不足も無く、収穫の秋を迎えられた。浅瀬石川ダムには大変感謝している。

危機的な渇水への対応 ～「渇水対応タイムライン」の作成～

- 新たな水循環基本計画において「危機的な渇水への取組を推進するため、水系・地域の歴史、経緯、特性及び実情を踏まえつつ、関係者が連携して、渇水による影響や被害を軽減するための対策等を定める渇水対応タイムライン（時系列の行動計画）を作成するよう努める。」とされている。
- 「渇水対応タイムライン」の作成支援のため、「渇水対応タイムライン作成のためのガイドライン（初版）」を平成31年3月に公表。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_fr2_000024.html

渇水対応タイムラインのイメージ



渇水対応タイムラインの策定状況

- 国管理河川において、渇水による影響が大きい水系から「渇水対応タイムライン」を作成。
- 令和7年3月末現在、32水系34河川で渇水対応タイムラインを公表。

	水系名	名称	公表日
北海道	石狩川(石狩川上流)	渇水対応タイムライン	令和4年3月24日
	石狩川(漁川)	渇水対応タイムライン	令和3年3月22日
	石狩川(空知川)	渇水対応タイムライン	令和4年3月24日
	天塩川(天塩川上流)	渇水対応タイムライン	令和4年3月24日
東北	雄物川	渇水対応タイムライン	令和3年6月11日
	子吉川	渇水対応タイムライン	令和3年6月24日
	岩木川	渇水対応タイムライン	令和4年6月22日
関東	利根川	渇水対応タイムライン	令和3年12月17日
	荒川	渇水対応タイムライン	令和3年12月17日
北陸	阿賀川	渇水対応タイムライン	令和3年3月3日
中部	櫛田川	事前渇水行動計画(渇水対応タイムライン)	令和3年2月1日
	雲出川	渇水対応タイムライン	令和5年10月19日
近畿	淀川	渇水対応タイムライン	令和3年4月9日
	加古川	渇水対応タイムライン	令和4年3月24日
	揖保川	渇水対応タイムライン	令和4年3月24日
	紀の川	渇水対応タイムライン	令和4年9月12日
	斐伊川	事前渇水行動計画(渇水対応タイムライン)	令和2年3月18日
中国	芦田川	渇水タイムライン	令和2年8月21日
	日野川	渇水対応タイムライン	令和3年3月29日
	佐波川	渇水対応タイムライン	令和4年2月25日
	小瀬川	渇水対応タイムライン	令和4年3月30日
	高梁川	渇水対応タイムライン	令和5年2月21日
	旭川	渇水対応タイムライン	令和5年2月21日
	江の川	渇水対応タイムライン	令和5年3月24日
	吉井川	渇水対応タイムライン	令和6年3月5日
	千代川	渇水対応タイムライン	令和6年3月19日
	太田川	渇水対応タイムライン	令和6年6月24日
四国	吉野川	渇水対応タイムライン	令和3年1月28日
	重信川	渇水タイムライン	令和5年9月27日
	物部川	渇水対応タイムライン	令和5年10月27日
	仁淀川	渇水対応タイムライン	令和5年10月27日
	肱川	渇水対応タイムライン	令和6年3月27日
	渡川	渇水対応タイムライン	令和6年8月27日
九州	山国川	渇水タイムライン	令和3年5月24日

○国土交通省HP「渇水情報総合ポータル」に、各全国の渇水状況や過去の渇水、渇水時の影響等を掲載

目次

- 過去の渇水情報
- 国土交通省渇水対策本部
- 渇水対策関係省庁会議（提供：内閣官房）
- 全国のダム貯水状況
- 全国のリアルタイムダム情報一覧
- 水道用水（提供：厚生労働省）
- 工業用水（提供：関東経済産業局）
- 農業用水（提供：農林水産省）
- 気象情報（提供：気象庁）
- 最近の天候の経過および今後の天候の見通し（提供：気象庁）

渇水情報総合ポータル

【最終更新：2024年3月13日】

渇水状況について

関東北部地方、四国地方、九州北部地方、沖縄地方の渇水について

少雨傾向により、関東北部地方、四国地方、九州北部地方、沖縄地方で、ダムの貯水率が低下するなど、渇水傾向が続いており、一部地域において、取水制限が実施されています。

関東北部地方、四国地方、九州北部地方、沖縄地方にお住いの皆様におかれましては、特に節水へのご協力をお願いします。

各家庭においてお願いしたい具体的な節水の取り組み

手洗い、洗顔、歯磨き 手洗いや歯磨きには、水を出さず、濡らしたタオルや洗面布で顔を拭き、歯磨き粉を塗り、水を出して洗い、最後に水道水を流す。1分以内の短時間です。	洗濯機 洗濯機は、洗濯物を満杯まで入れ、洗濯コースを選択し、洗濯機が自動的に水を供給し、洗濯が終わると自動的に水を止めます。
トイレ トイレの便器は、水を溜めすぎないように、水を溜めすぎるとトイレの便器が壊れることがあります。	お風呂 シャワーより「湯はり」の時間を短縮するのではなく、「お風呂」の温度を下げ、シャワーを短時間利用する。シャワーを短時間利用する場合は、シャワーを止めてお風呂を流す。

節水チラシを掲載

全国の渇水状況を更新（都度更新）

各地整の状況、各ダムの貯水率、会議資料、対応を更新（会議終了後都度更新）

■全国の渇水状況（2024年3月8日時点）
最新の状況はこちら

■各地の状況（2023年8月以降）

【東北地方整備局管内】

今年の冬は少雪傾向が続いており、今後の水利用や河川環境への影響が懸念されることから、東北地方整備局では、3月14日より**渇水対策本部**を設置します。

東北地方の雪の状況（気象庁HP）

【関東地方整備局管内】

関東地方整備局では、2月22日より**渇水対策本部**を設置しています。

過去の渇水について（平成6年、8年利根川の例）

10%取水制限時

- 東京都で一部多摩川水系から補給【H6】【上水】
- 配水圧の調整、給水バルブ調整【上水】
- 農業用水ポンプの時間運転、ゲート操作による調整【農水】

20%取水制限時

- 10%取水制限時の対策に加え以下の対策を実施。
- 公園の水道停止【上水】
- 香水の実施【農水】

30%取水制限時

- 20%取水制限時の対策に加え以下の対策を実施
- 小中学校等プール中止【上水】
- 生産ラインの制限【工水】

上水	埼玉県の一部地区で断水 千葉県の一部で断水（影響戸数：約39万戸、影響人口：約102万人） 茨城県でプールの閉鎖中止（61校） 公園への給水停止（35施設）
工水	千葉県で製品及び設備への影響（製品3事業所、設備4事業所）・稼働短縮（3事業所）

首都圏渇水時の影響例

